



新ばんば踊りの振り付けを練習する1年生(16日)



動きを繰り返し、少しずつ覚えていった

# 反復練習で「つづつかむ

## 講師招き、新ばんば踊り習う

2022/9/13  
#111  
延岡・北川小

秋の運動会シーズンを迎え延岡市内の小学校では、全校ダンスとして恒例の新ばんば踊りを練習している。このうち北川小学校(大崎岡子校長、102人)は、初めて小学校運動会に参加する1年生18人に正しい踊り方を教えてもらおうと、同市レクリエーション協会(大塚福徳会長)から講師を招き、習っている。

新ばんば踊りは、延岡に伝わる伝統的な踊り「ばんば踊り」を産調としたもの。1986

2(昭和37)年の誕生から今年で60周年を迎えた。

「延岡に住む一人として地元の名産を知ることに意義がある」と同校。指導には同協会の眞藤千鶴校長の

人が当たった。

2回目の指導が16日に同校であり、子どもたちは左足と右手の印の赤いポンを身につけて、2つのグループに分かれ、早足踊りに挑戦。眞藤副会長は子どもたちに「手を引くようにポンの音を出している方の足を前に出して、なな、なな、

つづつかむ、つづつかむの動作をゆくり見せながら言葉で解説した。

右手と左手が逆だった。足を上げるタイミングが分らない子には動きがスムーズになるように付き添って教え、何度も繰り返していきつづつつかんでいった。明るく元気な「サイサイ」の掛け声が体育館に響いた。

眞藤副会長は最後に今回の練習を振り返り「友達と心を合わせて踊っているのが分かりました。元気いっほい運動会が踊ってほしい」と激励。

横山楓さん(7)は「手を上げたり、歩いたりする踊りが楽しかった。(運動会では)見てくれる人にごまいなと思うのでほいので上手に踊りたい」と笑顔で話した。